

アレルギー性鼻炎を治療する重要性

スギによる季節性花粉症&ダニによる通年性アレルギー性鼻炎がある方では、風邪の時以外でも、クシャミをしたり、鼻が詰まったりすることがあります。朝起きた時に症状がひどくなったり、埃が舞うと鼻が出たりすることもあり得ます。

- 鼻炎と喘息はとても関連があります。
- また、鼻炎は確実にその人の勉強やスポーツへの集中力が落ちてパフォーマンスに影響します。これらは、つもり積もって行くと、大きなものとなってしまいます。
- これまでの抗アレルギー薬や点鼻薬で症状はおさまりますが、「抑えているだけです」。免疫療法は現時点で「治す」ことができる、体質改善を期待することができる治療です。
- 受験や就職など、将来のことを考えると今のうちになんとかすべきです。

舌下免疫療法は

- ✔免疫療法は、わざとアレルギーの原因であるダニやすぎを体に与えることで、慣れさせるという治療です。
- ✔鼻炎の症状を軽くする、アレルギーの薬を減量したりできます。
- ✔アレルギー薬と違うところは、免疫療法は体質を帰ることで治療が終わってもその効果が持続し、つまり抑えて治すアレルギー薬よりもより根源的な治療です。
- ✔治療のデメリットもあります。
- ✔まず、アレルギー反応が起きるかもしれないこと。
- ✔治療は少なくとも3年しないといけないこと。
- ✔全員に効果が保証されるわけではないことです。8~9割は効果があります。しかし効果のない方もいらっしゃいます。治療前に効果が予測できません。
- ✔少なくとも1年間治療してみて効果を判定します。

アレルギー反応が気になると躊躇される方が多い

- ✔アナフィラキシーなどの重症な副作用は実際はほぼないと思って良いです。
- ✔口・喉・耳が痒くなる局所の反応は、半分くらいの方に出る可能性があります。
- ✔例えば、アレルギーのヒフテストを行うと皮膚が腫れたり痒くなったりします。そういうことを考えると、粘膜にアレルゲンを投与するので、当然起こりうる反応と考えることができます。
- ✔この局所反応も続けていくと長くとも1ヶ月で消失するので安心してください。